

■ Tsuda Masashi 津田 正史

MEXT (科研費)

1. 認知症診断を目指した脳内酸素代謝の非侵襲的観測法の開発 (代表:津田正史) 挑戦的研究(萌芽),令和2~3年度,2,000千円.
2. アンフィジニウム属渦鞭毛藻の有用二次代謝産物の探索と開発 (代表:津田正史) 基盤研究(B), 令和3~6年度, 4,680千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. 新しい画像診断を目的したガス発生装置の作成とwith/postコロナへの応用(代表:津田正史) JST, A-STEPトリアウトタイプ, 2,307千円.

[Joint Research (共同研究)]

1. ^{17}O MRIによる薬効評価システム開発, (代表:津田正史), 株式会社Spectro Decypher, 401千円.
2. 質量分析による海洋性貝毒の網羅的研究, (代表:津田正史), 基盤共同研究, 物質・デバイス領域共同研究拠点, 78千円.
3. 質量分析による海洋性貝毒の網羅的研究, (代表:津田正史), 基盤共同研究, 物質・デバイス領域共同研究拠点, 80千円.

Journal Publications (論文)

1. Tsuda, M.; Akakabe, M.; Minamida, M.; Kumagai, K.; Tsuda, M.; Konishi Y.; Tominaga, A.; Fukushi, E.; Kawabata, J. Structure and stereochemistry of amphidinolide N congeners from marine dinoflagellate *Amphidinium* species. *Chem. Pharm. Bull.*, 69, 141–149 (2021).
2. Kato, S.; Mizukami, D.; Sugai, T.; Tsuda, M.; Fuwa, H. Total synthesis and complete configurational assignment of amphirionin-2. *Chem. Sci.*, 12, 872–879, (2021).

Patents (特許)

1. 津田 正史, 津田 雅之, 中山 登, 中岡 茂, 核磁気共鳴測定法及び核磁気共鳴装置, PCT/JP2021/008841.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 津田正史, 牧原瑠生, 津田雅之, 鈴木健之, *Amphidinium* 属渦鞭毛藻より単離した新規マクロリド Iriomoteolide-14aと14bの構造, 日本薬学会第141年会, オンライン (2021/3/26–29).
2. 津田正史, 津田雅之, 中山登, 中岡茂, ^{17}O -MRS によるマウス脳水の観測, 第49回日本磁気共鳴医学会大会, 横浜/オンライン (2021/9/10-12).

Other Details (その他)

[Outside Comittee (学外委員)]

1. マリンバイオテクノロジー学会 評議員
2. 天然有機化合物討論会 世話人

■ Miura Osamu 三浦 収

MEXT (科研費)

1. 古代湖・琵琶湖におけるカワニナ類の適応放散のメカニズム (代表:三浦 収) 基盤研究(C), 令和2年度～令和4年度, 1,300千円.
2. 宿主巻き貝-吸虫類寄生虫系に注目した干潟生態系への気候変動影響の評価 (代表:金谷 弦) 基盤研究(C), 令和2年度～令和4年度, 300千円.
3. 東アジアの古代湖「琵琶湖」の固有種成立過程の解明のための総合的研究 (代表:高橋 啓一) 基盤研究(B), 平成30年度～令和4年度, 200千円.

Journal Publications (論文)

1. 高橋啓一, 里口保文, 林 竜馬, 山川千代美, 大槻達郎, 三浦収, 田畑諒一, 渡辺勝敏, 佐藤健介, 琵琶湖とその生物相の形成に関連した研究史ならびにその文献資料について, 化石研究会会誌, 特別号第 5 号, 1-58(2021).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 三浦収, 外来種の遺伝的パラドクスを寄生虫から解く, 2021 年日本ベントス学会・日本プランクトン学会・合同大会, オンライン (2021/9/19).
2. 上野和真, 高木響, 浦部美佐子, 中井克樹, 三浦収, 琵琶湖産カワニナ種間の遺伝的交流の実態, 2021 年日本ベントス学会・日本プランクトン学会・合同大会, オンライン (2021/9/18).
3. 伊藤萌, 木村妙子, 三浦収, 山本智子, 五十嵐健志, 山本康平, 中井静子, 金岩稔, 増淵隆仁, 金谷弦, カゴ実験によるウミナナの地域間成長比較, 2021 年日本ベントス学会・日本プランクトン学会・合同大会, オンライン (2021/9/19).

■ Teramoto Maki 寺本 真紀

MEXT (科研費)

1. バイオディーゼル燃料を主生産する菌を用いたバイオディーゼル燃料の大量生産系の開発 (代表:寺本真紀), 基盤研究(C), 令和3年度~令和5年度, 800千円.
2. 難分解性プラスチック分解菌の探索とその機能を利用した加工・リサイクル技術の開発 (代表:宮本憲二), 基盤研究(A), 平成30年度~令和4年度, 2000千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. 海洋細菌のもつ生理活性を利活用する研究 (代表:寺本真紀), 静岡県, マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究, 6546千円.

[Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. 奨学寄附金, (株)ブリヂストン, 300千円.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 寺本真紀, 海洋深層水に棲む細菌を利用する, 第 21 回 マリンバイオテクノロジー学会大会 (シンポジウム 3 Blue-Tech; マリンオープンイノベーションの未来), オンライン開催 (2021/5/15-16).

Other Details (その他)

[Others (その他)]

1. 日本生物工学会会誌(生物工学会誌)に寄稿, 寺本真紀, 陸の菌と親戚の海の菌, 2021 年 99 卷(12 号) p.637. https://doi.org/10.34565/seibutsukogaku.99.12_637
2. 第 14 回黒潮圏科学国際シンポジウム (Session 6 Marine Virology) にて座長, 寺本真紀, オンライン開催 (2021/11/13-14).

■ Sakurai Tetsuya 櫻井 哲也

MEXT (科研費)

1. 遺伝子注釈の高度化に基づく渦鞭毛藻の増殖と有用化合物生合成に関するオミクス解析 (代表: 櫻井哲也) 基盤研究(C), 令和1年度~4年度, 3,300千円. 代表: 900千円.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Yutaro Kinoshita, Kouki Tanaka, Hirofumi Yamamoto, Yoichi Sato, Tetsuya Sakurai, Tomohito Yamasaki, Masanori Hiraoka, A novel approach for biomass production by controlled switching between unicellular and multicellular growth modes in marine macroalgae, International Conference on Algal Biomass, Biofuels and Bioproducts (AlgalBBB 2021), Hawaii (2021/6/14-16).

Domestic:

1. 湯城智広, 野村俊尚, 持田恵一, 櫻井哲也, コケ植物ヒカリゴケのゲノム情報基盤整備, 第77回中国四国植物学会大会, 香川 (2021/6/19-20).

Other Details (その他)

[Outside Committee (学外委員)]

1. 学術雑誌「Kuroshio Science」(ISSN: 1882-823X) 編集委員(2018/4-)
2. ナショナルバイオリソースプロジェクト ミヤコグサ/ダイズ基盤情報ワーキンググループメンバー (2014/9-)

[Committee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

1. 総合科学系情報セキュリティ委員

[Others (その他)]

1. 特定国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター 客員主管研究員 (2017.4-)

MEXT (科研費)

1. タイマイとアカウミガメのフレンジー(脱出直後の興奮状態)の解明と保全策の提示(代表:齊藤知己)基盤研究(C), 令和元年度~4年度, 3,300千円. 代表:今年度獲得直接経費(400千円).
2. 有明海の第三の人工構造物・ノリひび網設置による流れの変化に伴う魚類成育場への影響(代表:木下泉)基盤研究(C), 令和元年度~3年度, 5,000千円. 分担:今年度獲得直接経費(0千円).
3. 琉球列島の洞窟水圏環境における生物多様性の解明(代表:藤田喜久)基盤研究(B), 令和2年度~4年度, 13,500千円. 分担:今年度獲得直接経費(200千円).

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Joint Research (共同研究)]

1. 高知県沿岸に来遊するウミガメ類の個体群構造と生理学に関する研究(代表:友成実生子), 2021年度笹川科学研究助成, 690千円.

Journal Publications (論文)

1. 畠中俊暉, 三宅香成, 高田光紀, 笹井隆秀, 深田晋悟, 嘉陽宗幸, 小淵貴洋, 真栄田賢, 真壁正江, 河津勲, 齊藤知己, アオウミガメの孵化幼体における保管の条件と期間が遊泳活性に及ぼす影響, 黒潮圏科学, 14(2), 103-112 (2021).
2. Briscoe, D.K., Turner-Tomasiewicz, C., Seminoff, J.A., Parker, D. M., Balazs, G., Polovina, J., Kurita, M., Okamoto, H., Saito, T., Rice, M., Crowder, L.B., Dynamic thermal corridor may connect endangered loggerhead sea turtles across the Pacific Ocean, *Frontiers in Marine Science*, 8, 630590 (2021).
3. 金城芳典, 谷地森秀二, 谷岡仁, 渡部孝, 吉川貴臣, 齊藤知己, 美濃厚志, 坂本美々, 笠木靖, 高知県における両生・爬虫類の分布状況, 四国自然史科学研究, 14, 83-148 (2021).
4. Muñoz, C., Saito, T., Vermeiren, P., Cohort structure and individual resource specialization in loggerhead turtles, long-lived marine species with ontogenetic migrations, *Marine Ecology Progress Series*, 671, 175-190 (2021).

Reports & Others (報告書)

1. 齊藤知己, 追悼文 熊澤佳範さんを偲んで, マリンスタートラ, 30, 19-20 (2021).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Kobayashi, S., Saito, T., Kondo, S., Watanabe, G., Effects of incubation temperature on the sea turtle

hatchling phenotype: implication for the conservation of sea turtles under global warming, The 14th Asian Society of Conservation Medicine/27th Japanese Society of Zoo and Wildlife Medicine 2021 Joint Conference, Front line of One Health in Asia, online and onsite hybrid meeting, Sapporo, Japan (2021/9/21-24)

Domestic:

1. 友成実生子, 齊藤知己, 田中優衣, 米田彩花, 千原周, 四国太平洋岸に来遊するアカウミガメ個体群の血液生化学的分析, 第 32 回日本ウミガメ会議, オンライン大会 (2021/12/18-19).
2. 渡邊桜子, 亀田和成, 福永憲隆, 柿添裕香, 笹井隆秀, 河津勲, 志垣里紗, 齊藤知己, 八重山諸島におけるアオウミガメ孵化幼体の一次性比の測定, 第 32 回日本ウミガメ会議, オンライン大会 (2021/12/18-19).
3. 横井瞳, 笹井隆秀, 小淵貴洋, 真栄田賢, 水落夏帆, 河津勲, 齊藤知己, タイマイにおける孵卵温度と遊泳水温が孵化および幼体の運動性に及ぼす影響, 第 32 回日本ウミガメ会議, オンライン大会 (2021/12/18-19).
4. 友成実生子, 齊藤知己, 田中優衣, 米田彩花, 千原周, 四国太平洋岸に来遊するアカウミガメ個体群の血液生化学的分析, 第 113 回土佐生物学会, 高知 (2021/12/11).
5. 渡邊桜子, 亀田和成, 福永憲隆, 柿添裕香, 笹井隆秀, 河津勲, 志垣里紗, 齊藤知己, 八重山諸島におけるアオウミガメ孵化幼体の一次性比の測定, 第 113 回土佐生物学会, 高知 (2021/12/11).
6. 川嶋優希, 行川修平, 齊藤知己, 土佐湾におけるユメエビ科の分布, 第 113 回土佐生物学会, 高知 (2021/12/11).
7. 横井瞳, 笹井隆秀, 小淵貴洋, 真栄田賢, 水落夏帆, 河津勲, 齊藤知己, タイマイにおける孵卵温度と遊泳水温が孵化および幼体の運動性に及ぼす影響, 第 113 回土佐生物学会, 高知 (2021/12/11).

Other Details (その他)

[News Article (報道記事)]

1. 徳島新聞, 「未来との約束 ウミガメ」, 取材協力 (2021/1/29).
2. 高知新聞こども新聞 よもっか, いきものだいすき「オキナガレガニ」, 執筆 (2021/1/29)
3. 朝日新聞東京版夕刊, 「熊澤さんを偲んで」, 取材協力 (2021/2/10).
4. NHK E テレ, 地球ドラマチック「動物たちの秘めたるパワー スピード編」, 部分監修 (2021/3/6).
5. 高知新聞こども新聞 よもっか, いきものだいすき「ユーフォジア・シミス」, 執筆 (2021/4/23).
6. NHK E テレ, 地球ドラマチック「海のスーパーハンターたち」, 監修 (2021/5/1).
7. NHK E テレ, 地球ドラマチック「地球まるごと観測! 生きものたちの2か月 5~6月編」, 部分監修(2021/6/5).
8. NHK E テレ, 地球ドラマチック「体感! 野生動物たちがみた世界」, 部分監修 (2021/6/19).
9. 高知新聞こども新聞 よもっか, いきものだいすき「エボシガイ」, 執筆 (2021/7/2).
10. NHK E テレ, 地球ドラマチック「科学で解明! 動物たち

- の遊び」, 部分監修 (2021/7/10).
11. NHK E テレ, 地球ドラマチック「地球まるごと観測! 生きものたちの2か月 7~8月編」, 部分監修(2021/8/14).
 12. 高知新聞, 所感雑感「高知のエビのクライシス(危機)」, 執筆 (2021/9/14).
 13. 高知新聞子ども新聞 よもっか, いきものだいすき「アンダマンドウケツエビ」, 執筆(2021/9/24).
 14. NHK E テレ, 地球ドラマチック「イカとタコの不思議」, 監修 (2021/9/25).
 15. NHK E テレ, 地球ドラマチック「地球まるごと観測! 生きものたちの2か月 9~10月編」, 部分監修(2021/10/2).
 16. 高知新聞子ども新聞 よもっか, いきものだいすき「カルイシヤドカリ」, 執筆 (2021/12/3).
 17. NHK E テレ, 地球ドラマチック「地球まるごと観測! 生きものたちの2か月 11~12月編」, 部分監修(2021/12/4).
 18. NHK E テレ, 地球ドラマチック「厳寒に生きる 動物たちの冬物語」, 部分監修 (2021/12/25).

[Outside Committee (学外委員)]

1. 日本甲殻類学会英文誌編集委員.
2. 日本甲殻類学会学会賞審査委員.
3. 環境省希少野生動植物種保存推進員.
4. 高知県希少野生動植物保護専門員.
5. 日本ウミガメ協議会理事.
6. むろと廃校水族館顧問.
7. 香港オーシャンパーク水族館環境保護基金審査員 Ocean Park Conservation Foundation, Hong Kong (OPCFHK), reviewer.
8. 安芸市立学校給食センター運営委員会アドバイザー.
9. 高知県生物多様性こうち戦略推進リーダー.
10. 高知県野生生物分布調査有識者会議委員.

[Regional Contribution (地域貢献活動)]

1. 国立科学博物館・横倉山自然の森博物館, 企画展「日本の生物多様性とその保全」, 仁淀川におけるヌマエビ類の分布, 越知町, 展示協力 (2021/4/24-5/30).
2. 高知市立春野西小学校, 総合学習「採卵会」, 高知市, 参加者 26名, 講師 (2021/7/13).
3. 高知県立牧野植物園, 企画展「つなげ! 高知の少ない生きものたち」, 高知市, 展示協力 (2021/7/17-9/5).
4. 高知市立春野東小学校, 総合学習「採卵会」, 高知市, 参加者 63名, 講師 (2021/7/20).
5. 高知市立春野西小学校, 総合学習「ウミガメ学習会」, 高知市, 参加者 26名, 講師 (2021/9/9).
6. 高知市立春野東小学校, 総合学習「ウミガメ学習会」, 高知市, 参加者 63名, 講師 (2021/9/28).
7. 竜串ビジターセンターうみのわ, 「ウミガメのふしぎ企画展」, 土佐清水市, 展示協力(2021/9/1-30).
8. 竜串ビジターセンターうみのわ, 第7回自然ふれあい行事企画「ウミガメのヒミツ~ウミガメを通してみた海」, 土佐清水市, 参加者 12名, 講師 (2021/10/3).
9. 愛知県立三谷水産高実習船「愛知丸」船上講義, 高知市, 参加者 30名, 講師 (2021/10/30).

■ Namba Takushi 難波 卓司

MEXT (科研費)

1. 小胞体膜タンパク質BAP31が制御するミトコンドリア機能と神経障害の関連性の解明 (代表:難波卓司) 基盤研究(C), 平成31年度~令和3年度, 1,000 千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Joint Research (共同研究)]

1. 新規化粧品材料の研究開発 (代表:難波卓司), (株)丸善製薬, 6000千円 (間接経費を含む).
2. 藻類の新たな生理作用の探索 (代表:難波卓司), (株)saulife, 6,000千円 (間接経費を含む).

[Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. 皮膚線維芽細胞における老化とオルガネラコミュニケーションの破綻, 中富健康科学振興財団, 令和3年度~令和4年度 1,500千円.

Journal Publications (論文)

1. Yoshioka, T., Igarashi, Y., Namba, T., Ueda, S., Pai, IGU., Nihira, T., Kitani, S., Lavencidin, a polyene macrolide antibiotic from *Streptomyces lavendulae* FRI-5, J Antibiot (Tokyo)., 74, 359-362 (2021).

Books (著書)

1. 難波卓司, 牧野弘暉, ミトコンドリアダイナミクス (石原直忠 監修), NTS 出版, 35-40 (2021).

Patents (特許)

1. 難波卓司, 岩橋恭弥 (丸善製薬), SA- β -gal 発現抑制剤, オートファジー誘導剤、及び抗老化用組成物, 特願 2021-114992.
2. 難波卓司, 町原加代, アンチエイジング剤およびその製造方法, 特願 2021-092585.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Namba, T., Machihara S., Iwahashi K., Rejuvenating effect of lotus germ extract on senescent fibroblast via DAPK1-Beclin-1 pathway induced autophagy, The 6th International Cell Senescence Association (ICSA) Conference, Osaka (2021/12/12-15).

Domestic:

1. 難波卓司, スピルリナの新しい抗酸化効果, 新技術説明会, online (2021/8/17).

■ Ulanova Dana ウラノバ ダナ

MEXT (科研費)

1. テルペンを鍵とした海底下微生物間相互作用「ブラックボックス」ロック解除機構の解明(代表:Ulanova Dana)、基盤研究(C)、令和3~5年度, 1,000千円.
2. 生態分子に着目した“化石種にも使える”高精度有孔虫Mg/Ca水温計の開発(代表:氏家 由利香)基盤研究(B)、令和2年度~令和4年度, 450千円.
3. 遺伝子から薬まで一微生物による薬の作り方について学びましょう!(代表:Ulanova Dana)、研究成果公开发表(B)(ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI)、令和3年度, 490千円.

Reviews (総説)

1. Avalos, M., Garbeva, P., Vader, L., van Wezel, GP., Dickschat, J.S., Ulanova, D., Biosynthesis, evolution and ecology of microbial terpenoids. Nat Prod Rep. 2021 Oct 6. doi: 10.1039/d1np00047k

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. Matsubara, Y., Ulanova, D., Culture-based survey on interactions between marine invertebrate-associated bacteria, Annual Conference Online 2021, Microbiology Society (UK), 2021/4/26-30.
2. Matsubara, Y., Ulanova, D., Chemical interactions between marine invertebrate-associated bacteria evaluated by culture-based method, 14th Kuroshio Science International Symposium, 2021/11/13-14 (Online).

Domestic:

1. Ulanova, D., Uenaka, Y., Sakama, M., Sakurai, T., Draft Genome Sequence of *Salinispora* sp. Strain H7-4, Isolated from Deep-Sea Sediments of the Shikoku Basin, 日本農芸化学会 2021 年度大会, 2021/3/18-21 (オンライン).
2. 松原雄太, Ulanova D., 培養実験による海洋無脊椎動物由来細菌の相互作用調査、第 21 回マリンバイオテクノロジー学会大会, 2021/5/25-26 (オンライン).

Other Details (その他)

[Committee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

一日公開実施委員

[Regional Contribution (地域貢献活動)]

1. ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI 「遺伝子から薬まで一微生物による薬の作り方について学びましょう!」, 令和3年7月31日(土)~8月1日(日).

■ Onodera Ken-ichi 小野寺 健一

MEXT (科研費)

1. 海洋アルカロイドの起源解明法確率研究 (代表:小野寺健一) 基盤研究(C), 令和元年度～令和3年度, 1,000千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. 海洋細菌のもつ生理活性を利活用する研究 (代表:寺本真紀) 静岡県, 令和3年度 マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究, 500千円.

Other Details (その他)

[Outside Committee (学外委員)]

1. 日本農芸化学会 中四国支部 支部参与

[Committee Activity within the cluster (部門内での活動)]

1. 評価 (広報) 委員